

## IC近くの新たな工業地整備が起工

21年3月事業完了へ

【1面関連、海老名】

海老名運動公園周辺地区土地区画整理組合（中山隆夫理事長）は、区画整理事業の工事に本格的に着手した。業務代行者はエム・ケー（東京都日野市）と清水建設（東京都中央区）。

19日にあった起工式で、エム・ケーの小林勤社長は「これまで地元の皆さんと協議してきたことを今後確実に実行していきたい」と述べた。施工を進める清水建設土木東京支店の杉原克郎支店

長は「皆さんから預かった土地で道路、上下水道などの基盤整備を実施する他、産業・住宅の街区整備を行っていくが、何よりも安全第一、無災害で工事を推進していく」と強調した。

同事業の区域は海老名運動公園の東に位置する海老名市新田5丁目の約11・8畝。昨年11月に組合が設立し、このたび起工した。2021年3月の事業完了を予定している。

海老名インターチェンジから約400㍍に位置

することから、高速交通体系の利便性を生かした産業基盤を創出し、新たな工業地を整備していく。利用面積は工業用地が約8万5000平方㍍、住宅地に約2500平方㍍、道路など公共用地として約3万平方㍍。公園2カ所と調整池の整備も行う。道路は工業・流通系土地利用の街区の外周に幅員10・5㍍、区画道路として幅員6㍍を整備する予定。区域の東西を横断する市道53号線バイパス（仮称）は市が整備する。